

第23回

金融經濟教育推進會議

1. 開会挨拶

- ・金融経済教育推進機構 安藤理事長
- ・金融庁 岡田総合政策局政策立案総括官

2. 事務局からの説明

- (1)委員の交代及び追加について
- (2)推進会議の各事業の取組み状況について
- (3)金融経済教育推進機構(J-FLEC)の事業について

3. 金融経済教育関係者からの取組み発表・意見交換

4. 閉会挨拶

- ・金融経済教育推進会議 吉野座長

2.事務局からの説明

(1)委員の交代及び追加について

- 東委員(椋山女学園大学現代マネジメント学部教授)が今回の本会議をもって委員をご退任される予定。
次回の本会議からは大藪千穂 岐阜大学教育学部教授・副学長に委員にご就任いただく予定。
- 金融経済教育に携わる関係者間の連携を推進するため、次回の本会議より、日本貸金業協会にも委員にご就任いただく予定。
同協会は貸金業法に基づき設立された貸金業界の自主規制機関。金融リテラシー向上コンソーシアムを立ち上げ、学習指導要領や金融リテラシーマップに基づいた講義の実施、教材類の作成を行うなど、金融経済教育の推進にかかる取組みも実施している。

2.事務局からの説明

(2)推進会議の各事業の取組み状況について

- ・動画講座(マネビタ)
- ・大学連携講座

J-FLECウェブサイト「マネビタ」ページを設置(2025年3月26日)

<https://www.j-flec.go.jp/conference/e-learning/>

YouTubeでも、gacco登録でも
どちらでも見られる形式を継続

J-FLEC
J-FLECについて 一般の方へ 教育関係の方へ 事業者の方へ J-FLEC認定アドバイザー 発表・広報

トップ > 金融経済教育推進会議 > 動画で学ぶお金の知恵「マネビタ」

動画で学ぶお金の知恵「マネビタ」

マネビタとは
受験者の声
動画一覧
受講方法は2パターン
マネビタ紹介動画
動画・スライドのご活用について
講座開発の背景

「官庁や業界団体の夢のコラボ」
「動画で学べる！」
「PC・スマホOK！」
「専門家から学ぶ お金の基本 - 初心者でも安心 -」
「受講者満足度 97%」
「1つの講座 15min」
「講座は全て無料」
「サクッと簡単！」
「修了証がもらえる」

J-FLECの動画一覧から動画をすぐに見る

「gacco」に登録して動画講座を受講する

新年度のgacco講座は
2025/4/17に開始

動画一覧

お金に関する基本を学ぼう！全6分野18タイトル。各動画は15分程度。

1 金融と経済を学ぶ

- あなたの夢の実現と持続可能な社会の形成に向けて ～なぜ金融リテラシーが必要か？
- キャッシュレス決済
- 金利と経済

金利の基礎

金融と経済を学ぶ
金利と経済
金融経済教育推進機構 (J-FLEC)

金利と経済
金融経済教育推進機構 (J-FLEC)

見る YouTube 育教育推進機構 (J-FLEC) 官庁や業界団体の夢のコラボ 金融経済教育推進会議

講義スライドをダウンロード (PowerPoint 2 MB)

講義動画・講義スライドを講義・研修等に利用する場合の注意事項

関連リンク

日本銀行HP「教えて！にちぎん」(物価の安定と金融政策)

金融と経済を学ぶ

- あなたの夢の実現と持続可能な社会の形成に向けて ～なぜ金融リテラシーが必要か？ 金融庁
- キャッシュレス決済 金融経済教育推進機構 (J-FLEC)

講義スライドは、利便性の高い
パワーポイント形式での提供を継続

□ 2026年度用の動画を、目下、講師担当団体と準備中

【全面作成替え】

- NISA、生命保険、消費者トラブルに遭わないために(2本)の計4動画

【一部修正】 計13動画

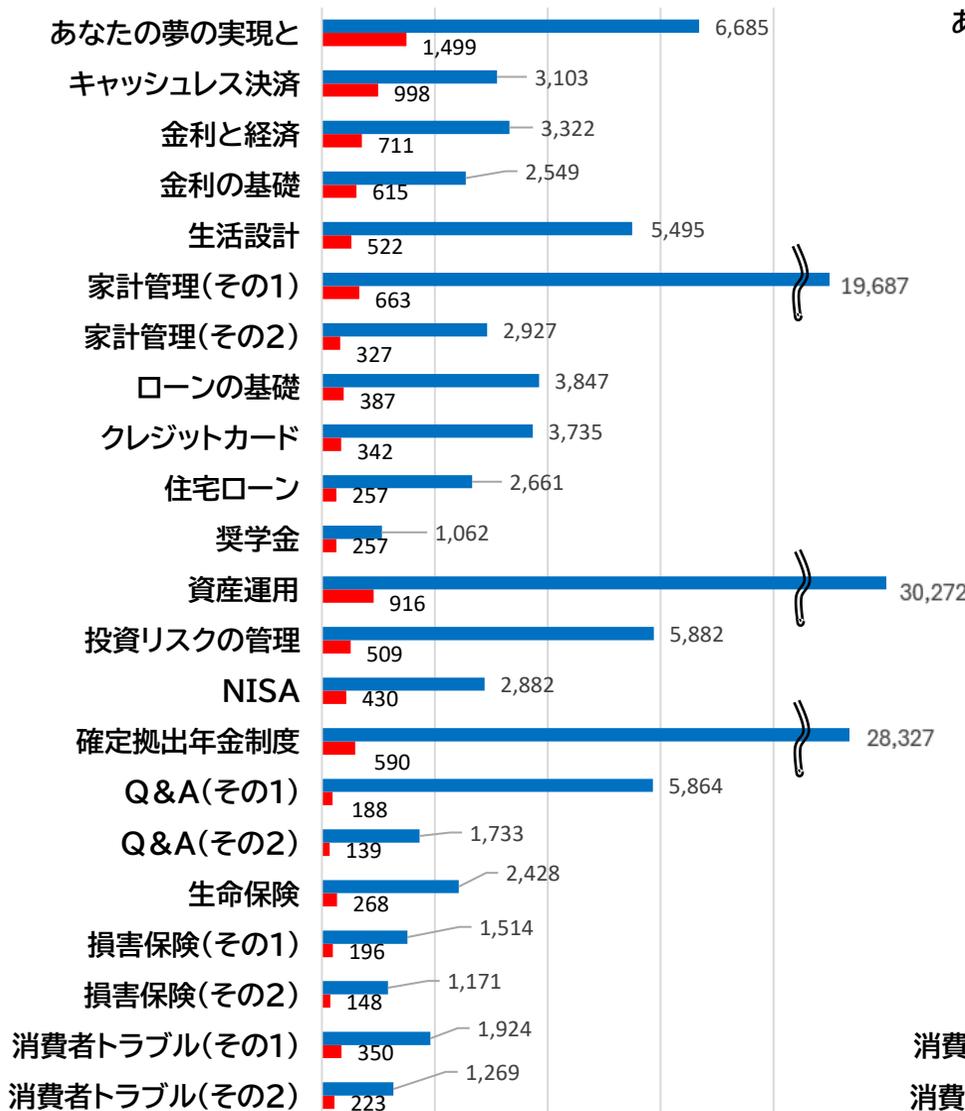
- **投資信託協会**を**資産運用業協会**に一律変更
- **厚生労働省**において「**確定拠出年金制度**」のスライドに、**2026年12月以降に適用される制度改正内容を先行して追記**
- 引用データを更新(金融庁、全銀協、JASSOなど)

分野	テーマ	講師担当団体
金融と経済を学ぶ	あなたの夢の実現と持続可能な社会の形成に向けて ～なぜ金融リテラシーが必要か？	金融庁
	キャッシュレス決済	J-FLEC
	金利と経済	
	金利の基礎	
ライフプランを描く	生活設計 ～個人で考えよう、家族で話そう将来設計	日本FP協会
	家計管理 ～夢の実現に向けお金の管理方法を学ぼう	
お金を借りる	ローンの基礎	全国銀行協会
	クレジットカード	
	住宅ローン	
	奨学金	日本学生支援機構
お金を増やす	資産運用 ～始める前に	日本証券業協会 東京証券取引所 投資信託協会
	投資リスクの管理 (リスクの軽減)	金融庁
	NISA	
	NISA・確定拠出年金	
	確定拠出年金制度	厚生労働省
	Q&A	日本証券業協会 東京証券取引所 投資信託協会
リスクに備える	生命保険	生命保険文化センター
	損害保険	日本損害保険協会
トラブルを避ける	消費者トラブルに遭わないために ～契約の基礎と最近の消費者トラブル事例	消費者庁 (協力:国民生活センター)

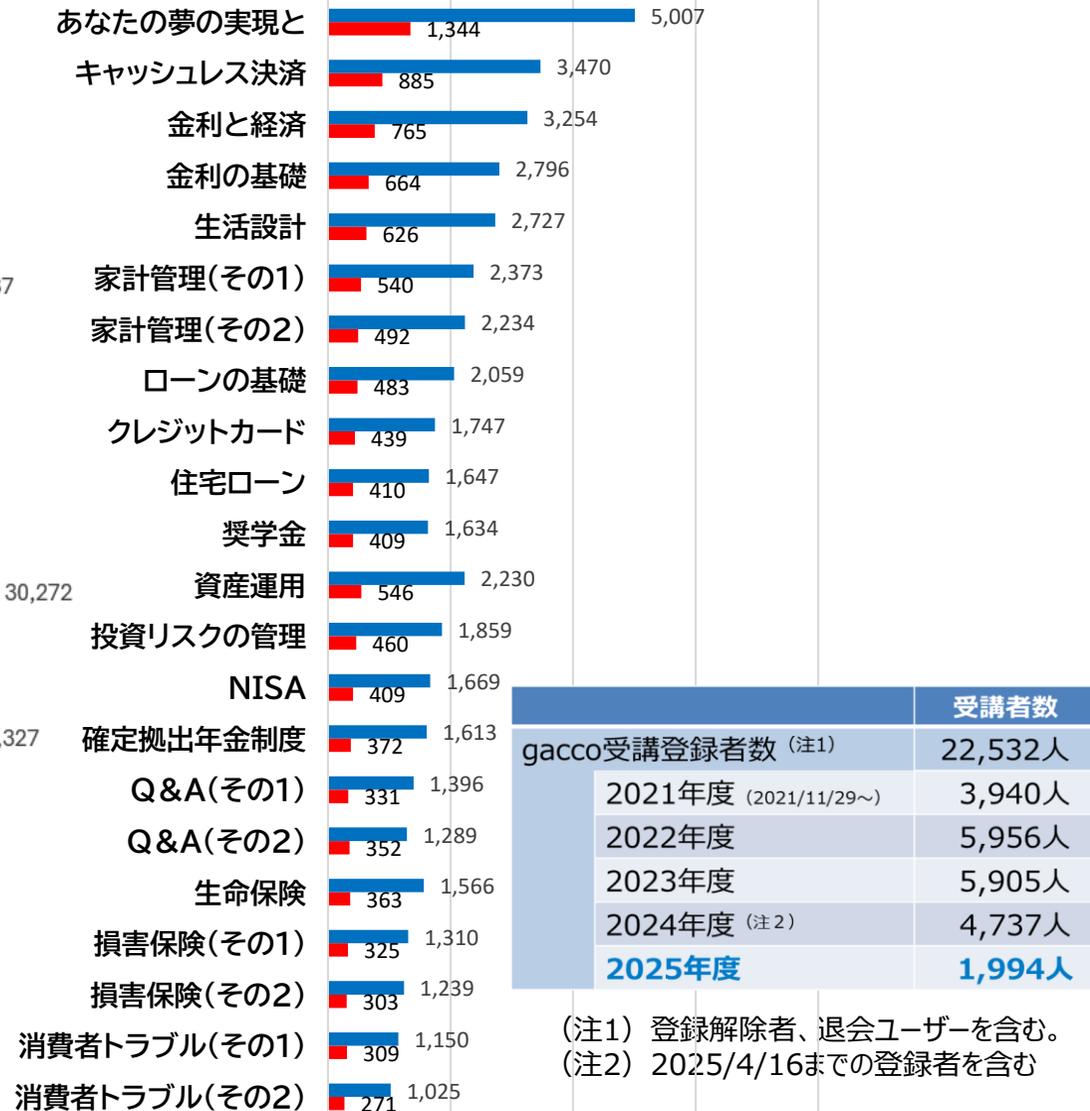
動画講座「マネビタ」 YouTubeとgaccoの比較

YouTube 通算138,339回(2023年9月8日～2025年3月31日)
通算10,535回(2025年4月1日～2025年12月31日)

gacco 通算45,294回(2023年10月2日～2025年3月31日)
通算11,098回(2025年4月17日～2025年12月31日)



単位:回



単位:回

	受講者数
gacco受講登録者数(注1)	22,532人
2021年度(2021/11/29～)	3,940人
2022年度	5,956人
2023年度	5,905人
2024年度(注2)	4,737人
2025年度	1,994人

(注1) 登録解除者、退会ユーザーを含む。
(注2) 2025/4/16までの登録者を含む

- gacco受講登録者数は、年々、減少の状況。営業面では、メルマガ情宣による新規受講者の獲得に努めているが、昨年度は700人程度を獲得できたものの、今年度は290人まで低減。こうした状況を踏まえると、今後のMOOCの伸びは期待しにくい状況。

- そうした中、ドコモgaccoでは、2026年度に、MOOC事業※ から撤退する予定。
 - ※ MOOC事業とは、大学レベルの講義を受けられる大規模公開オンライン講座のこと。
 - ―― ドコモgaccoでは、MOOC事業を継承する先の確保に努めるものの、現時点では未定。

- このように、①gaccoの受講登録者数減少と、②ドコモgaccoのMOOC事業からの撤退等の状況を踏まえ、2026年度からは、YouTubeでの動画提供に一本化する予定。
(gacco受講を履修要件の1つとしている大学には、年度内に事情を説明する予定)

- 2026年度開講先として、昭和女子大学(前期2講座・後期1講座)、広島経済大学、専門学校東京アナウンス学院の追加が確定。

前期(13先)	後期(18先)
関東学院大学(経営学部)	学習院大学(全学部)
慶應義塾大学(経済学部)	関東学院大学(経営学部 セミナール生のみ)
神戸親和大学(全学部)	岐阜協立大学(経営学部)
埼玉大学(経済学部)	県立広島大学(地域創生学部)
実践女子大学(全学部)	甲南大学(リカレント教育センター)
昭和女子大学(会計ファイナンス学科) <i>New!</i>	実践女子大学(全学部)
東京経済大学(全学部)	尚絅学院大学(人文社会学類)
東京理科大学(経営学部)	昭和女子大学(会計ファイナンス学科) <i>New!</i>
日本大学(経済学部)	椋山女学園大学(現代マネジメント学部)
明治大学(経営学部)	専修大学(全学部)
明治大学(政治経済学部等)	大学コンソーシアム大阪(単位互換包括協定大学)
明星大学(経営学部 金融・会計プロフェッションコースのみ)	専門学校東京アナウンス学院(アナウンス科) <i>New!</i>
麗澤大学(全学部)	東洋英和女学院大学(全学部)
	名古屋短期大学(現代教養学科)
	広島大学(経済学部)
	広島経済大学(全学部) <i>New!</i>
	びわこ成蹊スポーツ大学(全学部)
	武蔵野大学(経済学部)

※2025年度開講先のうち、明治学院大学(経済学部)は休講、中央大学(商学部)は通常のJ-FLEC講師派遣に移行する予定。

- 大学生向けの標準講義資料をもとに、「入学時」「就活前」「卒業前」の3つのシーン別の講座を提供（1回60分の講座を複数回にわたり実施）
- 講師派遣(出張授業)をより手軽にご活用いただけるよう、講義資料に関する講師との事前調整が不要なパッケージ講座として提供

プログラム		対象	講義内容
入学時	消費者・金融トラブル編(1)	1～2年生	消費者契約の基礎を学んだうえで、若者が陥りやすい消費者トラブルの具体例と注意点について学びます。
	消費者・金融トラブル編(2)		クレジットカードやローンの注意点を学んだうえで、多重債務の予防、若者が陥りやすい金融トラブルの具体例と注意点について学びます。
就活前	金融リテラシー基礎編	3年生	就職活動をするにあたって知っておきたい「生活設計の重要性」「収支管理の基本」「職業選択の重要性」について講義を行います。
卒業前	金融リテラシー応用編(1)	4年生	資産形成の基本である家計管理や資産運用の手法(長期・積立・分散)、NISAや確定拠出年金などの制度について学びます。
	金融リテラシー応用編(2)		様々なリスクへの備えとして、社会保険と民間保険について学びます

大学関係者の
皆様向け

J-FLEC
金融経済教育推進機構

金融経済教育の カリキュラム支援を行っています!!

金融経済教育推進機構(通称:『J-FLEC』(ジェイフレック))は、特別の法律に基づき国の認可を受け、中立・公正な立場から、官民一体で金融経済教育を推進する唯一の公的機関(金融庁所管の認可法人)です。

J-FLECは、金融経済教育を広く提供していくことを通じて、皆さん一人ひとりが描くフィナンシャル・ウェルビーイングの実現を支援しています。

その一環として、**大学向けに講師派遣(出張授業)や教材の無償提供**を行っています。

金融の専門家による講師派遣(出張授業)

全国どこでも、金融経済に関する出張授業を無料で実施!
講義で使用する「標準講義資料」はJ-FLECホームページで公開しています。

テーマ・主な学習内容

- 社会人として知っておきたいお金の話(フルサイズ120分)

家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISA等)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止等 全般を幅広く学んでいただけます。

詳細/閲覧
お申し込みはこちら

大学生向けに連続出張授業(パッケージ)もご準備しています!

上記「社会人として知っておきたいお金の話」の内容を、「入学時」「就活前」「卒業前」の3つのシーン別に提供するパッケージ講座となります。各コマ60分講義です。

講義テーマ	対象	講義概要
【入学時】 消費者・金融 トラブル編(1)	大学 1・2年生	消費者契約の基礎、若者が陥りやすい消費者トラブルの具体例と注意点
【入学時】 消費者・金融 トラブル編(2)		クレジットカードやローンの注意点、多重債務の予防、若者が陥りやすい金融トラブルの具体例と注意点
【就活前】 金融リテラシー 基礎編	大学 3年生	就職活動をするにあたって知っておきたい生活設計の重要性、収支管理の基本、職業選択の重要性
【卒業前】 金融リテラシー 応用編(1)	大学 4年生	家計管理や資産運用の手法(長期・積立・分散)、NISAや確定拠出年金などの資産形成支援制度
【卒業前】 金融リテラシー 応用編(2)		様々なリスクへの備えとしての社会保険と民間保険

※お申し込みの際は、「入学時」-【就活前】-【卒業前】の各プログラム単位でお願いします。【入学時】【卒業前】は、2コマで内容が網羅される構成です。※各プログラムで想定する対象はあくまで目安です。異なる場合でもお申し込みいただけます。

本プログラムの詳細、詳しいお申し込み方法につきましては、裏面をご確認ください。

大学生向け
連続出張授業の
詳細はこちら

J-FLEC
金融経済教育推進機構

金融経済教育推進機構(J-FLEC)
〒103-0022
東京都中央区日本橋室町2丁目3番1号
室町古河三井ビルディング9F

お問合せフォーム
詳しくはウェブサイトをご覧ください。

J-FLEC 検索

発行年月 2025年12月

お申し込みから講義当日までの流れ / プログラム実施概要

お申し込み
講師決定のご連絡
講師との事前打合せ
出張授業当日
アンケートご回答

お申し込みは、左記選移先下段の申込フォームに必要な事項をご入力ください。
<https://www.j-flec.go.jp/instructors/>
(メールアドレスのご登録からお願いしております。)

◆連続出張授業をご希望の場合は、「イベント概要・その他要望」に、表面の講義テーマを記入してください。
(記入例)「【入学時】消費者・金融トラブル編(1)」【就活前】金融リテラシー基礎編」等

実施日時	土日・祝日を問わず、講師を派遣いたします。(年末年始期間(12/29 ~ 1/10)は除きます。)恐れ入りますが、ご希望日の 45日前まで のお申し込みをお願いしております。
受講者数	原則 10名以上 より、承っております。(お申し込みの際の見込みで差し支えございません。)
講師	J-FLEC講師 (審査に合格した講師を派遣いたします。)
費用	無料(講師代や派遣に係る交通費) ●講義資料は画面等で投影いたします。対面開催の場合の資料の印刷は、恐れ入りますが、お申し込みいただいた派遣先に対応・ご負担をお願いしております。

カリキュラムで活用できるコンテンツの無償提供

副教材の提供 講義やゼミなどで活用いただける金融や経済、家計管理や資産形成などに関する副教材を無償提供しています。

大学生のための人生とお金の知恵

ライフデザインからはじまり、家計管理・資産形成・リスクへの対処方法など、大学の授業の副教材として使える教材

●時間(目安): 10分~1時間

これであなたもひとり立ち

収支管理、住居選び、悪質商法対策、資産形成等、経済生活上の実践的な基礎知識が身に付くワークブック教材

●時間(目安): 1 ワークあたり1~2時間

株式学習ゲーム ※2026年4月よりシステム改修/名称変更予定

仮想所持金をもとに、実際の株価に基づいて株式等の模擬売買を行うシミュレーション教材

●時間(目安): 1か月以上が望ましい

資産形成タイムトラベル

過去市場において、金融商品の組合せを考え、最大20年間の積立運用を疑似体験するシミュレーション教材

●時間(目安): 1時間

講義等で活用いただける動画の提供

講義やゼミの一部にも取り入れやすいコンパクトな動画が充実

J-FLEC
公式 YouTube

動画で学ぶ
お金の知恵
「マネナビタ」

(少し先取り)
社会人向け
オンライン講座

2025年11月公開
「重点版(60分)」・
「全体版(120分)」
短い3分版も掲載

教育関係者向けアーカイブ動画も提供

教育関係者(教職課程の学生含む)を対象に、自身のお金について学ぶ、授業で金融経済教育を教える際のポイント、教材利用方法を扱ったセミナーのアーカイブ動画も提供。
※選移先で「絞り込み」から「アーカイブ動画のみ表示」を選択ください。

本年2月に全国の大学に連続出前授業を含めた案内チラシを送付

2.事務局からの説明

(3)金融経済教育推進機構(J-FLEC)の事業について

1

講師派遣事業

- ◆ 全国の企業や学校等に、J-FLEC講師を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を展開。

2

イベント・セミナー事業

- ◆ 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催。

3

「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験事業

- ◆ J-FLEC相談員(J-FLEC認定アドバイザー)による個別相談の無料体験を、J-FLECにおいて、対面またはオンラインで実施。

4

「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業

- ◆ クーポン対象事業者(J-FLEC認定アドバイザー)による有料の個別相談をはじめて利用する方を対象に、相談料が80%オフ(1時間あたり最大8,000円まで割引)になる電子クーポン(3時間分)を配布。

5

学校等への支援事業

- ◆ 金融経済教育に関する研究活動などに取り組む学校を指定し、教育研究費の助成やアドバイス提供を実施。

□ 2025年度は、12月末時点で3,481件の講師派遣を実施。

※2024年度:2,306件(本格稼働後の2024年8月26日(J-FLECとして申込みの受付を開始した日)以降に実施した件数)

※2025年度:4,701件(2025年12月末までの申込みの件数(上記3,481件を含む)。1月以降の申込みにより今後も継続的に増加)

2025年度の講師派遣先の内訳(n=3,481)



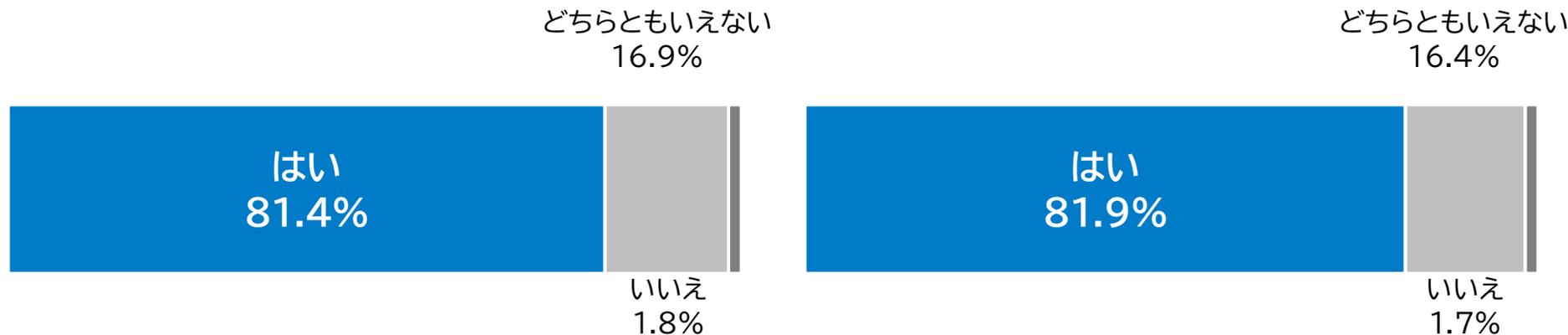
※2024年度は児童・生徒・学生等向け59.9%、職域10.4%、地域コミュニティ29.7%であった。

□ 2025年度を受講者アンケートの満足度平均は4.43(5段階評価)。

※「今回の講義はいかがでしたか」に対する回答(大変よかった、よかった、どちらともいえない、いまひとつ、よくなかった)の平均。

受講前に比べて、金融経済に関する
興味・関心が湧きましたか

今後も金融経済について
学びたいと思いましたか



□ 全国各地で、講師派遣を実施中。

都道府県名	件数	都道府県名	件数	都道府県名	件数	都道府県名	件数
北海道・東北ブロック		北信越ブロック		近畿ブロック		四国ブロック	
北海道	71 (46)	新潟県	55 (81)	滋賀県	145 (35)	徳島県	23 (13)
青森県	34 (8)	富山県	41 (19)	京都府	56 (31)	香川県	48 (28)
岩手県	83 (111)	石川県	59 (47)	大阪府	115 (107)	愛媛県	39 (34)
宮城県	36 (20)	福井県	55 (27)	兵庫県	126 (73)	高知県	14 (13)
秋田県	41 (23)	長野県	31 (26)	奈良県	45 (21)	九州・沖縄ブロック	
山形県	18 (21)	中部ブロック		和歌山県	35 (37)	福岡県	126 (26)
福島県	50 (45)	岐阜県	106 (43)	中国ブロック		佐賀県	13 (48)
関東ブロック		静岡県	45 (26)	鳥取県	36 (31)	長崎県	41 (16)
茨城県	54 (28)	愛知県	188 (169)	島根県	33 (51)	熊本県	18 (11)
栃木県	137 (120)	三重県	73 (39)	岡山県	43 (42)	大分県	60 (35)
群馬県	38 (27)			広島県	123 (74)	宮崎県	39 (31)
埼玉県	126 (59)			山口県	59 (33)	鹿児島県	39 (11)
千葉県	118 (94)					沖縄県	152 (108)
東京都	425 (238)						
神奈川県	135 (61)						
山梨県	34 (19)						

合計:3,481件 (2,306件)

(注)上記は、2025年度にJ-FLECとして講師を派遣した件数(オンライン動画を除く)である。()内は2024年度の件数。

- 2025年12月末時点で、合計1,342名のJ-FLEC認定アドバイザーを認定済。
- J-FLECのウェブサイト上において、J-FLEC認定アドバイザーのリスト及びプロフィールを公開中。

【J-FLEC認定アドバイザー(1,342名)の属性】(2025年12月末時点)

(性別)

男性	女性
861名 (64.2%)	471名 (35.1%)

※このほか無回答10名あり

(年代)

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
3名 (0.2%)	65名 (4.8%)	181名 (13.5%)	402名 (30.0%)	559名 (41.7%)	132名 (9.8%)

(保有資格) ※複数の資格を保有している場合は、左側のものから優先してカウント。

CFP	AFP	FP技能検定 (2級以上)	消費生活 相談員等	外務員 (1種)	士業(注)	証券 アナリスト	その他
643名 (47.9%)	280名 (20.9%)	264名 (19.7%)	42名 (3.1%)	41名 (3.1%)	50名 (3.7%)	20名 (1.5%)	2名 (0.1%)

88.5%

(注)税理士、司法書士、社会保険労務士、弁護士、公認会計士、行政書士

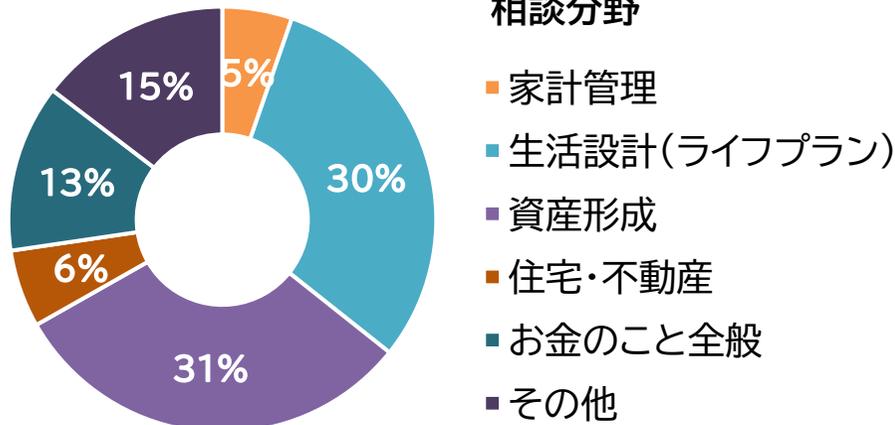
□ 2025年度は、12月末時点で218件の個別相談を実施。

※2024年度は104件の個別相談を実施(2024年11月5日に開始)。

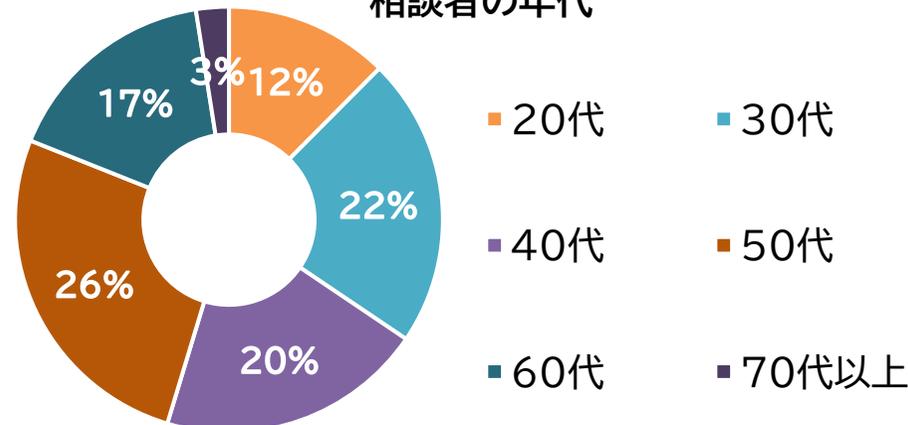
□ これまでの相談者アンケートの満足度平均は4.72 (5段階評価)。

※「今回の相談はいかがでしたか」に対する回答(大変よかった、よかった、ふつう、あまりよくなかった、よくなかった)の平均。

相談分野



相談者の年代



【主な感想】

- ・ 丁寧かつ、わかりやすい説明をいただけき、今回ご相談できて大変良かったです。ライフプランの組み立て方など、何もわからない状態でしたが、注意点など教えて頂きました。
- ・ アドバイスだけでなく具体的数値も示していただいたのでとてもわかりやすかった。
- ・ 講義だとなかなか質問しづらいこともあるので対面で話げできたことはとても良かった
- ・ 中立な立場ということから、商品の押売がないため安心して相談ができたので、とても満足感があります。

□ 2025年度は、12月末時点で564件のクーポンを配布。

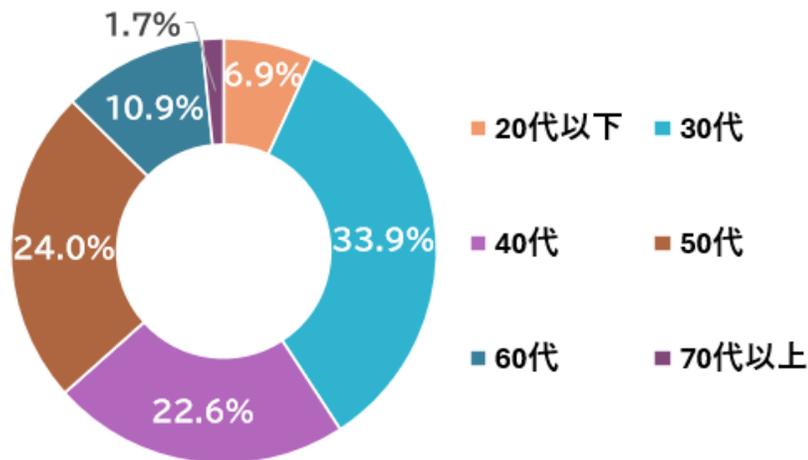
※2024年度は264件のクーポンを配布。

□ 2025年12月末時点で384名をクーポン対象事業者として登録。

□ これまでの利用者アンケートの満足度平均は4.84(5段階評価)。

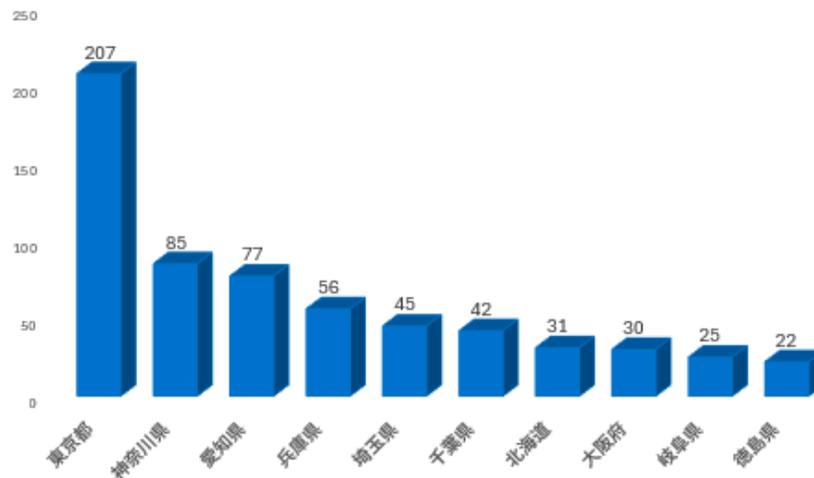
※「相談したJ-FLEC認定アドバイザーの対応はいかがでしたか」に対する回答(大変よかった、よかった、どちらともいえない、いまひとつ、不満)の平均。

クーポン利用者年代分布



都道府県別クーポン利用者(上位10地域)

※2024年度含む、申請者ベース

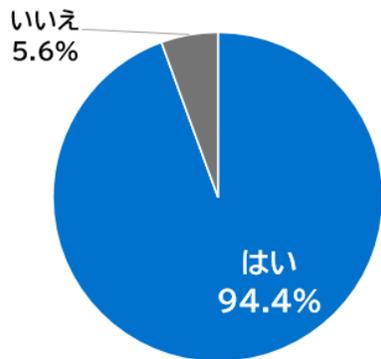


【主な感想】

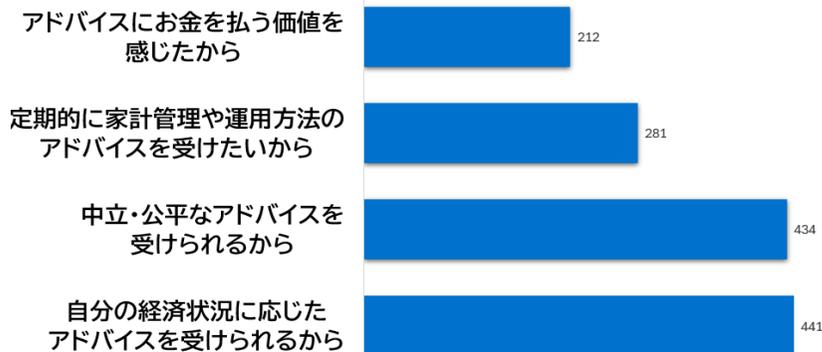
- ・ 有料の相談は初めてだったが、想像以上に素晴らしく、非常に大事な情報を得ることができ、大満足だった。
- ・ 自分たちに見えていなかった家計の課題などが明らかになった。「どの分野の支出を減らすか」、「子どもの教育資金と自分たちの老後生活資金のバランス」など、相談したことで今までぼんやり悩んでいたことの解像度があがった。
- ・ お金に関する様々なことを数値化していただき、自分の人生を真剣に考えることとになる大変有意義な機会でした。今後もライフステージの変化に応じて相談したいと思います。

- 「今後も有料のアドバイスを受けたいか」は94.4%が「はい」と回答。
※「いいえ」の理由:「今回の相談で十分満足できたから」「自分で勉強すれば十分だから」
- 相談方法は年齢に関わらず対面を選択するケースが多い(対面60.7%、オンライン39.3%)。
- 「クーポンを知ったきっかけ」については「認定アドバイザーのホームページ」、「申込のきっかけ」については「割引制度があり、相談しやすいと思ったから」が多い。

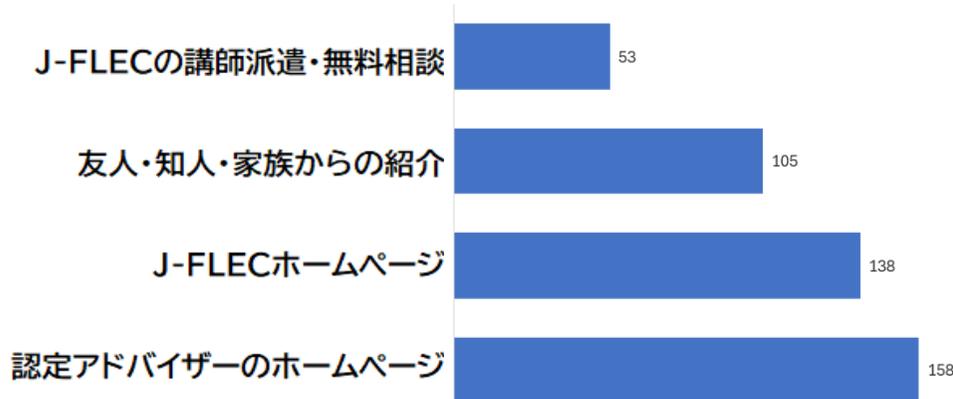
今後も有料のアドバイスを受けたいですか



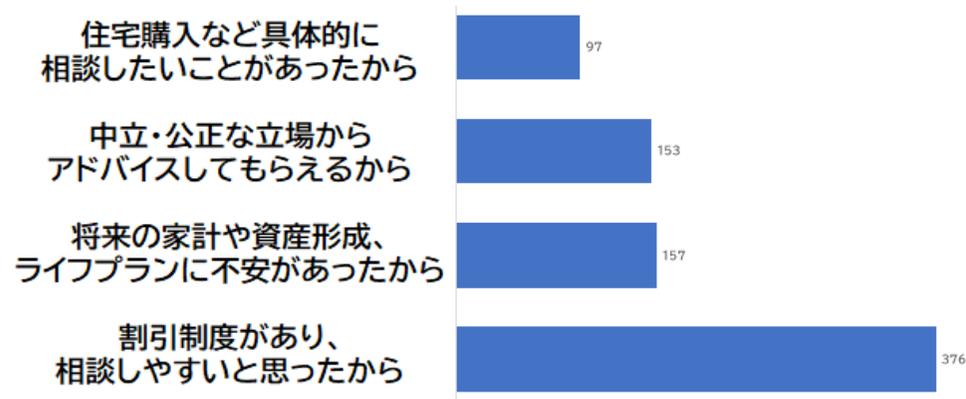
今後も受けたいと答えた理由(複数回答)



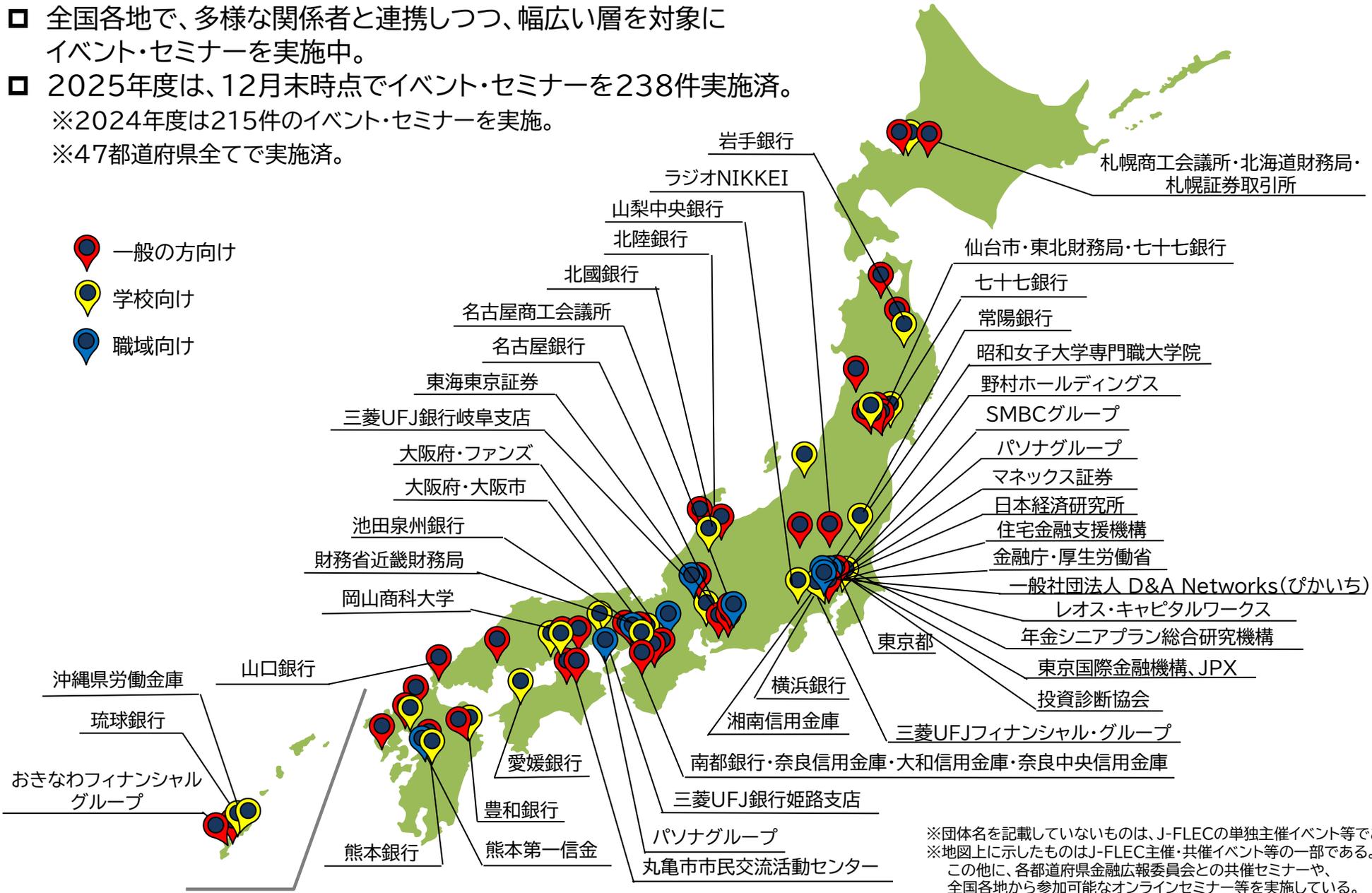
クーポンを知ったきっかけ(複数回答・上位項目)



クーポン申込のきっかけ(複数回答・上位項目)



- ❑ 全国各地で、多様な関係者と連携しつつ、幅広い層を対象にイベント・セミナーを実施中。
- ❑ 2025年度は、12月末時点でイベント・セミナーを238件実施済。
※2024年度は215件のイベント・セミナーを実施。
※47都道府県全てで実施済。



※団体名を記載していないものは、J-FLECの単独主催イベント等である。
 ※地図上に示したものはJ-FLEC主催・共催イベント等の一部である。
 この他に、各都道府県金融広報委員会との共催セミナーや、全国各地から参加可能なオンラインセミナー等を実施している。

□ シニア層をターゲットとしたイベントとして、「シニア向けセミナー」を開催

□ 申込数:239名／当日参加数:174名

(本イベントは収録を行い、後日アーカイブ配信も予定)

◆J-FLECシニア向けセミナー

「教えて野尻さん！桐谷さん！～お金との付き合い方と生きがいの話～」

【開催概要】

・日時:2026年1月14日(水)18時30分～20時40分

・会場:東京証券会館ホール

・プログラム

オープニング:J-FLEC 安藤理事長

第一部 「資産寿命」を延ばす賢い取り崩し法

野尻 哲史 氏(合同会社フィンウェル研究所 代表)

第二部 農業的な資産の育て方と元気の秘訣

桐谷 広人 氏(将棋棋士、投資家)

MC:鈴木 ともみ 氏(経済キャスター)

・セミナー開始前に「お試し個別相談ブース」を設置



※シニア層をターゲットとしたイベントの積極的な開催、高齢顧客保護の観点から、詐欺被害対策を含め、金融経済教育を徹底(「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」2025.6.13閣議決定、抜粋・概要)

- 「耳で聴く後藤達也note公開収録&マネーセミナー(宇都宮)」をラジオNIKKEIとの共催にて開催。
 当日参加者数(ライブ配信視聴者含む):406名 ※ライブ配信は申し込み不要で実施
- 2月8日(日)に岡山にて、第2弾を開催予定。

◆耳で聴く後藤達也note公開収録&マネーセミナー(宇都宮)

- ・日時:2025年10月5日(日)13時~15時
- ・会場:TKPガーデンシティ宇都宮ロイヤルホール
- ・プログラム
 - 第一部 J-FLEC(安藤理事長) × 後藤達也氏 対談
 日本の金融リテラシーの現状や課題について対談
 - 第二部 「耳で聴く後藤達也note」公開収録
 - 第三部 資産運用、日本株投資のイロハ(協賛:東京証券取引所)



宇都宮での当日の様様

◆耳で聴く後藤達也note公開収録&マネーセミナー(岡山)

- ・日時:2026年2月8日(日)13時~15時
 - ・会場:おかやま未来ホール
 - ・プログラム
 - 第一部 J-FLEC(本田経営戦略部長) × 後藤達也氏 対談
 - 第二部 「耳で聴く後藤達也note」公開収録
 - 第三部 日本経済や日本株の今後について(仮)(協賛:東京証券取引所)
- ※「お試し個別相談ブース」設置予定

宇都宮・岡山ともに、対面とライブ配信のハイブリッド形式で開催。
 開催後のアーカイブ配信も実施。

□ 今年度のGMWイベントとして、昨年度同様子供向けの本を活用したイベント「かいがら書店」を開催する。

◆ **かいがら書店 in 二子玉川(開催期間:2026年3月7日(土)~3月20日(金))**

二子玉川蔦屋家電2Fにて、『おかねがでない おかねのはなし』がもらえるイベントを開催する。

会場では、壁面に貼られたシールを剥がすと作中に登場する虹の絵が徐々に現れるギミックを用意し、さらに剥がしたシールの裏面には、物語に関連するお金についての問いかけが記載されている。

(例えば「最近買った「ないところまるもの」を教えてね」など)。

参加者が裏面に回答を記入し、別の場所に貼りなおして掲示すると本を受け取れるフローを想定。イベントを通じて、自分ごとに置き換えて考えてもらう狙いを想定。



▲ イベントスペース



▲ 虹のギミックのイメージ

- ❑ 金融庁と厚生労働省との共催で、「～将来を見据えたおかねのキホン～ NISAとiDeCoで始める資産形成セミナー2025」をオンラインで開催した。
- ❑ 事務連絡(金融庁経由)をはじめ、関係団体を通じた周知を実施した。
- ❑ 「公的な機関から体系的に資産形成に関する情報を学ぶことができ良かった」「すでに資産形成は始めていたけれど改めて勉強になった。」といった感想が寄せられた。
- ❑ 当日視聴数:5,594／アーカイブ視聴数:5,629 (12月末)

【開催概要】

・日時:2025年10月22日(水)18時30分～20時00分

・プログラム

①金融庁 伊藤長官メッセージ

②金融リテラシー総論(J-FLEC認定アドバイザー 上原 千華子 氏)

③NISA制度とその活用方法

(金融庁 金融経済教育推進室 森田 壮一郎 氏)

④iDeCo制度・財形貯蓄制度とその活用方法

(厚生労働省年金局 企業年金・個人年金課 乃一 浩通 氏)

⑤Q&Aコーナー



配信の様子

J-FLEC ② お金を3つに整理する 9

○ お金を「使う」「貯める」「増やす・備える」の3つに分類して、『仕組み化で確保したお金を目的に応じて振り分け』ましょう。

毎月の手取り収入

仕組み化で確保したお金を目的別に「貯める」「増やす・備える」

優先順位での支出見直しも重要

使うお金=生活費 水道光熱費、通信費、娯楽費、衣料品代など 日常生活に必要なお金	貯めるお金=目的あるお金 学費、住宅購入、教育費、海外旅行代など 近い将来に使う予定のお金	増やすお金+備えるお金 老後資金、大きなケガ・病気にも備えるお金など 当面使う予定のないお金
---	--	---

- ❑ 全国各地で金融庁が実施している金融経済教育イベント「ワニーサと学ぶ 未来のためのお金の教室」に積極的に協力した。

◆協力の概要

- ❑ 2025年5月31日(土)にイオンモール福岡で行われたイベントでは、**子ども向けの貯金箱作成ブースを出展したほか**、ステージイベント「学ぼう！お金の知識 みんないっしょに幸せ家族」及び講義プログラム「今さら聞けない！大人のための金融経済教育」への**認定アドバイザーの登壇**協力した。
- ❑ 2025年6月21日(土)のイオンモール岡山で2回目のイベントが開催され、続いて8月30日(土)は札幌のサッポロファクトリー、10月25日(土)は宮城のイオンモール新利府、11月22日(土)は愛知のイオンモール名古屋茶屋、12月20日(土)は埼玉県のエミテラス所沢でも同様のイベントが行われた。各会場では、**認定アドバイザーの登壇**協力に加え、関係機関の**ブース出展サポート**も実施した。
- ❑ 今後、香川、沖縄で実施予定。



▲福岡での模様
(関係キャラクター集合)



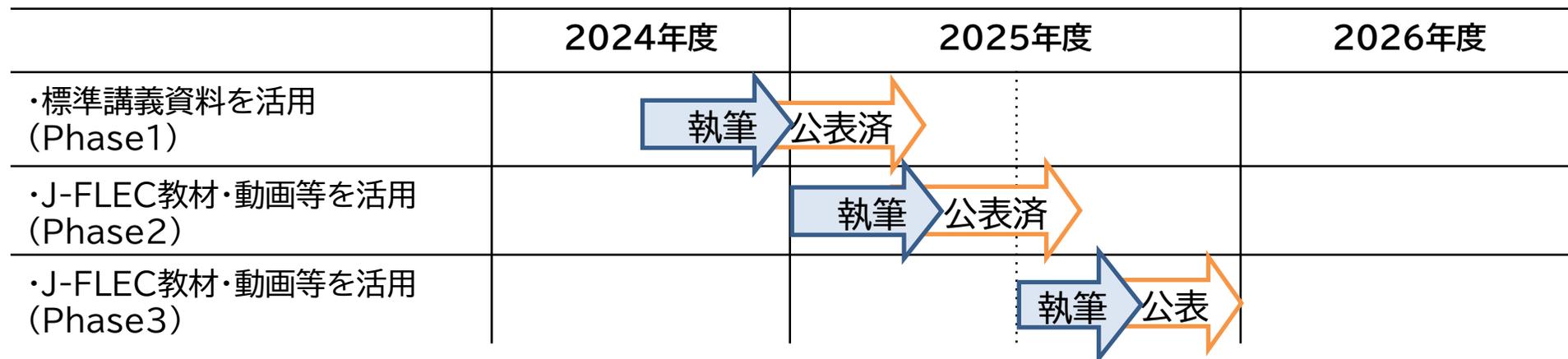
▲宮城でのイベントページ

実施日	地域
5月31日(土)	福岡
6月21日(土)	岡山
8月30日(土)	札幌
10月25日(土)	宮城
11月22日(土)	名古屋
12月20日(土)	埼玉
1月24日(土)	熊本
以降、香川、沖縄で実施予定	

▲実施日・地域

- 学校・教員支援研究会の作業部会として、学習指導案作成部会を設置し、小・中学校及び高等学校における社会科・公民科、家庭科、総合的な学習(探究)の時間、特別活動等で活用する金融経済教育に関する学習指導案を作成。
- (Phase2) 11月に標準講義資料・J-FLEC教材を活用した学習指導案を公表し、全国の事務局関係団体に地元の教育委員会、教員等学校関係者に周知を依頼。文科省から各都道府県の教育委員会等に対し、同学習指導案等の活用について周知する事務連絡を発出予定。
- (Phase3) 3月公表予定のJ-FLEC教材・動画等を活用した学習指導案を執筆中。今後、Phase 1・2と同様、文科省に周知に関する事務連絡の発出を要請するとともに、HPでの公表及び金融経済教育研究校での実践を予定。

<スケジュール(イメージ)>



【学習指導案作成部会メンバー】

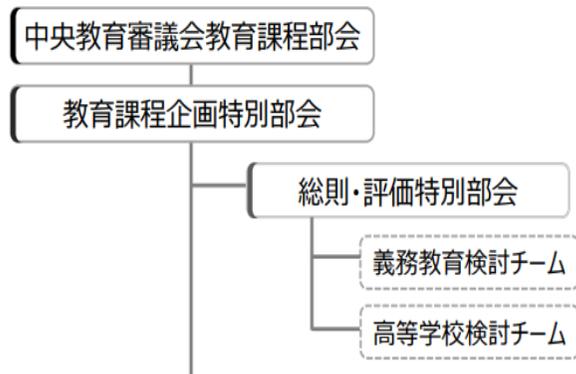
部会長 大藪 千穂 岐阜大学教育学部教授・副学長
 副部会長 樋口 雅夫 玉川大学教育学部教授
 委員 石本 貞衡 葛飾区立堀切中学校主幹教諭
 // 岩澤 未奈 東京都立狛江高等学校主任教諭

委員 小井戸あや乃 岐阜大学教育学部准教授
 // 高松 一恵 瑞穂市立穂積中学校教諭
 // 西 祐貴子 筑波大学附属高等学校非常勤講師
 // 塙 枝里子 東京都立農業高等学校主幹教諭

日程	会議体	審議状況等
令和6年 12月25日	中央教育審議会	初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について(諮問)
令和7年 1月28日	初等中等教育分科会	上記諮問を受けて審議開始
1月下旬～	教育課程企画特別部会	教育課程企画特別部会において、諮問された事項に関する基本的な方向性等について審議開始 (9/19までの間、13回開催)
9月25日	教育課程部会	教育課程企画特別部会における検討の結果を暫定的に「 論点整理 」として取りまとめ、今後の更なる検討の深化や各WG等での検討の前提として整理
9月下旬～	総則・評価特別部会、 各教科等別WG等	「 論点整理 」を受けて、専門的な検討を進め、令和8年夏頃までに取りまとめ(予定)
令和8年秋頃	教育課程部会	「 審議のまとめ 」取りまとめ(予定)
令和8年度中	中央教育審議会	「 答申 」取りまとめ(予定)

第13期 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 家庭WG 委員名簿

学習指導要領改訂に向けた検討体制



別紙

- 石島 恵美子 茨城大学教職大学院教育学研究科教授、茨城大学教育学野教授
- 大久保 順子 西東京市立田無第三中学校校長、全日本中学校技術・家庭科研究会副会長
- 大友 佳子 金融経済教育推進機構理事**
- 亀田 香利 石川県能美市教育委員会事務局次長兼学校支援課長
- ◎ 杉山 久仁子 横浜国立大学教育学部教授
- 鈴木 基代 公益財団法人消費者教育支援センター専務理事
- 高木 伸一 栃木県立宇都宮中央高等学校校長、全国高等学校長協会家庭部会理事長
- 田中 宏子 滋賀大学教授
- 都甲 由紀子 大分大学教育学部准教授
- 西原 直枝 日本女子大学家政学部被服学科准教授
- 村上 律子 東京都文京区立青柳小学校校長、全国小学校家庭科教育研究会副会長
- 吉川 はる奈 埼玉大学大学院教授
- 渡瀬 典子 東京学芸大学教育学部教授



※今後検討体制について変更の必要が生じた場合は、構成について見直しを行う。

(出所)文部科学省ウェブサイト

- 2025年9月に作品受付を締切。11月に最終審査会を実施し、入賞者が決定した(公表済み)。
- 応募総数は、7,454編。高校生部門を開始した2003年度以降で最も多い数となった。

2025年度J-FLEC理事長賞

中学生部門 **多忙な「貯金箱」** 西原 鈴恩さん(福岡市立高取中学校2年)

高校生部門 **通帳と母の背中から学んだ、私の経済感覚** 大木 未来さん(佐賀県立佐賀北高等学校3年)

中学生部門

▶応募総数 **4,715編**

▶今後の予定

1月20日(火) 入賞作品の公表

1月下旬～2月 受賞者表彰式

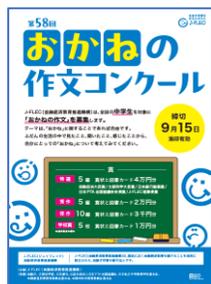
高校生部門

▶応募総数 **2,739編**

▶今後の予定

1月20日(火) 入賞作品の公表

1月下旬～2月 受賞者表彰式



チラシ



コンクール専用サイト



コンクール応募用動画

- J-FLECのKPI(アウトプット)の達成状況(2025年9月末)は以下のとおり。

アウトプット

金融経済教育の提供

KPI(アウトプット)【金融経済教育の提供】とは・・・

J-FLECにおける講師派遣および主催・共催するセミナー・講座、イベント、動画の実施回数、参加人数をカウントしたもの(オンデマンド配信を含む)※。

※動画については掲載本数、視聴回数をカウント。

KPI

J-FLECにおける
講師派遣等の
①年間実施回数
②年間参加人数

▼2025年度の達成状況(アウトプット【金融経済教育の提供】)

目標

①1万回
②75万人

※これまで金融庁や各業界団体で行ってきた講師派遣等の回数は年間約5,000回、参加人数は年間約30万人

目標値	実施回数		参加人数	
	年間： 1万回		年間： 75万人	
	実績値(回)	KPI対比	実績値(人)	KPI対比
2025年4-9月	2,076	20.8%	105,073	14.0%

- 2025年12月、金融庁が「地域金融力強化プラン」を策定。地域における金融リテラシー向上への貢献として、**J-FLECの講師派遣やオンライン講座等の活用の検討**を促しながら、引き続き**地域金融機関における金融経済教育の普及・促進に係る取組み**が行われるよう促すことが掲げられた。
- こうした動きも踏まえ、金融機関との連携をより一層促進するため、**講師派遣等に関するQ&A、申込時に参照可能な代行入力に関する手順**を公表。
- J-FLECの講師派遣・オンライン講座等の活用(関係者への紹介・案内)について、金融庁との連名により、**金融業界団体を通じた周知を実施**。

金融庁「地域金融力強化プラン」(抄) 2025年12月19日公表

Ⅱ.8.(5)地域における資産形成や金融経済教育における貢献

地域の人々の資産形成を支援する観点から、金融経済教育やファイナンシャル・プランニングの推進において、**地域金融機関がその役割を発揮していくことが重要**である。足元では、**地域金融機関が地方公共団体と連携し、県内の高等学校に対し、金融経済教育に係る出前授業を行うような取組が実施されている地域も見られる。**

- ・ **引き続き、地域金融機関における金融経済教育の普及・促進に係る取組が行われるよう促していくことで、地域における金融リテラシーの向上に貢献していく。**その際、2024年4月に設立した**金融経済教育推進機構(J-FLEC)**の**講師派遣やオンライン講座等の活用の検討も促す。**

金融機関・金融事業者の皆さまへ


金融経済教育推進機構(J-FLEC)

講師派遣(出張授業・講義)等に関するQ&A

○ 当機構^(注1)では、多くの金融機関・自治体・教育関係機関等の皆さまに講師派遣(出張授業・講義)等のご利用や、そのご協力をいただいております。改めて、これまで寄せられた主なご質問等をまとめました。

○ 金融機関・金融事業者の皆さまにおかれては、学校・企業・コミュニティなどへ、地域貢献等の一環として、講師派遣等をご案内・ご紹介いただけますと幸いです。

(注)金融経済教育推進機構(通称「J-FLEC(ジェイフレック)」は、特別の法律に基づき国の認可を受け、中立・公正な立場から、官民一体で金融経済教育を推進する唯一の公的機関(金融庁所管の認可法人)です。(補足)本Q&Aは、地域金融機関を含む全ての金融機関・金融事業者の皆さまを対象としております。

金融庁「地域金融力強化プラン」(抄)(2025年12月19日公表)

Ⅱ.8.(5)地域における資産形成や金融経済教育における貢献
 地域の人々の資産形成を支援する観点から、金融経済教育やファイナンシャル・プランニングの推進において、地域金融機関がその役割を発揮していくことが重要である。足元では、地域金融機関が地方公共団体と連携し、県内の高等学校に対し、金融経済教育に係る出前授業を行うような取組が実施されている地域も見られる。
 ・ 引き続き、地域金融機関における金融経済教育の普及・促進に係る取組が行われるよう促していくことで、地域における金融リテラシーの向上に貢献していく。その際、2024年4月に設立した金融経済教育推進機構(J-FLEC)の講師派遣やオンライン講座等の活用の検討も促す。

1 講師派遣・オンライン講座・個別相談等の内容/利用の案内・紹介

- ① J-FLECの講師派遣等の内容について教えてください。金融機関・金融事業者から地域の関係者に利用を案内・紹介してもよいのでしょうか。
- ② 地域の関係者(学校・企業など)への金融経済教育の普及・金融リテラシーの向上のため、当機構(J-FLEC)の講師派遣・オンライン講座等のご紹介をお願いします。講師派遣は「無料(講師の交通費)」で何回でもご利用いただけます。講師派遣の概要は裏面又はウェブページ(以下参照)をご確認ください。

2 講師派遣の申込みの代行入力

- ① 派遣先となる地域の方に申込みの手間をおかけたくありません。案内・紹介する者が派遣先となる方に代わり、申込みまで行うことはできるのでしょうか。
- ② 金融経済教育の普及等を目的に、派遣先とは異なる方(例:金融機関のご担当者など)が派遣先に代わってウェブページから申し込み「代行入力」をご活用いただけます。既に複数の金融機関でご活用いただいております。手順をウェブページに掲載いたしました。ご参照いただけますと幸いです。

※ 専用ウェブページのご案内

○ 金融機関・金融事業者の皆さまの参考となる情報をウェブページに一元的にまとめております。ぜひご参照ください!

<https://www.j-flec.go.jp/about/omonaijavo/particular/finance/>

裏面にも続きます





金融経済教育推進機構(J-FLEC)
 〒103-0022
 東京都中央区日本橋兜町2丁目1番1号
 東京 03(55)1211(フラインク)

※ 問合せフォーム
 問い合わせ受付を
 ご確認ください



「J-FLEC」検索
 発行年月 2025年12月

- 2025年11月末より、**時間・場所・再生速度を選ばないeラーニング形式**の講義動画「**J-FLECオンライン講座**」の提供を開始。
- **社会人若手層、中堅層、ベテラン層**向けに、特に重要な事項をまとめた**60分版**と、網羅的に解説した**120分版**の2種類ずつを提供。また、いくつかのテーマごとに分けた**短編の分割版**も用意。
- 企業、自治体・官公庁、学校などの職域において、**研修や福利厚生の一環として、手間なく、すぐに利用いただけるコンテンツ**として、講師派遣等の実施準備に懸念を示す先を中心に案内。複数の企業等から申込みをいただいている。

重点版（60分）一覧

幅広いテーマを網羅的に扱いつつ、各テーマの中でも特に重要なポイントを説明した60分版です。テーマ別、約20分ごとの3分割版もあります。

若手社会人向け 重点版（60分）



家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本（長期・積立・分散）や支援制度（NISAなど）、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止などについて、重点的に学べます。

[詳細を見る](#)

中堅社会人向け 重点版（60分）



家計の現状把握から外部知見（お金の専門家）の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止などについて、重点的に学べます。

[詳細を見る](#)

ベテラン社会人向け 重点版（60分）



定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、相続・贈与・終活などの概要、金融トラブルの防止などについて、重点的に学べます。

[詳細を見る](#)

全体版（120分）一覧

幅広いテーマについて、身に付けていただきたい内容を網羅的に説明した120分版です。テーマ別、約40分ごとの3分割版もあります。

若手社会人向け 全体版（120分）



家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本（長期・積立・分散）や支援制度（NISAなど）、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止などについて、網羅的に学べます。

[詳細を見る](#)

中堅社会人向け 全体版（120分）



家計の現状把握から外部知見（お金の専門家）の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止などについて、網羅的に学べます。

[詳細を見る](#)

ベテラン社会人向け 全体版（120分）



定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、相続・贈与・終活などの概要、金融トラブルの防止などについて、網羅的に学べます。

[詳細を見る](#)

- 公民館・公共施設等、学童・放課後児童クラブ・児童館等、職域(企業・その他民間団体、自治体・官公庁)といった**対象層別に、パッケージ講座等の講師派遣に関する情報をわかりやすく案内したチラシ**を作成。
- ウェブサイトで、講師派遣のチラシやプログラム例、参考情報等を掲載した**所属先別の案内ページ**を作成。対象層別チラシとあわせて、今後も拡充予定。トップページの**ピックアップ**の画像も刷新。
- その他、オンライン講座に関する広報関連マニュアルを作成。各種パンフレットやチラシとともに、事務局関係団体にも利用いただいている。

放課後児童クラブ(学童保育)・放課後子供教室・児童館向け出張授業プログラム

J-FLEC 長期休暇(夏・冬・春休み)、土曜(無休/休業日)などで、ご利用ください! 【無料】

おこづかいから学ぶお金の話

金融経済教育推進機構(通称:J-FLEC[ジェイフレック])は、特別の法律に基づき国の認可を受け、中立・公正な立場から、市民一体で金融経済教育を推進する**唯一の公的機関**です。金融経済の専門家による【無料】の出張授業プログラムを提供しています。

時間にあわせて選べる**3つの学習スタイル**
お申込み時、希望のコース番号を必ず記入してください

<p>コース①</p> <p>45分講座 「おこづかいから学ぶお金の話」 ※内容は画面QRコードから確認可能</p>	<p>コース②</p> <p>60分講座 「おこづかいから学ぶお金の話」+「貯金箱作り」</p>	<p>コース③</p> <p>90分講座 ワーク「チャレンジ! おかしの株式会社」 ※小学校4年生以上推奨</p>
---	---	--

お申込みをご検討いただく際の**4つのポイント**

- 金融経済教育を専門とする**公的機関だから安心**
※J-FLECは「金融サービスの提供及び利用環境の整備に関する法律」に基づく認可法人
- 授業は**J-FLECが認定した専門家**が担当
- 派遣に関する費用(講師料・交通費)は**「無料」**(J-FLECが負担)
※講義資料の印刷・配布のみご負担いただけます
- お申込みは開催希望日の**45日前まで**にお願いいたします
※この先の長期休暇(夏・冬・春休み)を見越して、早い時期からお申込みを承っております。クラブごと複数回のお申込みも承ります。ぜひご利用ください。

本プログラムの詳細、詳しいお申込み方法につきましては、裏面をご確認ください

出張授業プログラムの特徴

お申込みをご検討いただく際の**4つのポイント**

- 金融経済教育を専門とする**公的機関だから安心**
※J-FLECは「金融サービスの提供及び利用環境の整備に関する法律」に基づく認可法人
- 授業は**J-FLECが認定した専門家**が担当
- 派遣に関する費用(講師料・交通費)は**「無料」**(J-FLECが負担)
※講義資料の印刷・配布のみご負担いただけます
- お申込みは開催希望日の**45日前まで**にお願いいたします
※この先の長期休暇(夏・冬・春休み)を見越して、早い時期からお申込みを承っております。クラブごと複数回のお申込みも承ります。ぜひご利用ください。

ご利用いただいた方の声

夏は日中外出して活動できない日が多いので、室内でお金の話と貯金箱づくりをしていただけ、子どもたちも楽しく学べたよかったです。

この学びを通して、日常生活の中で少しずつお金の管理を意識できるようになっていくことを期待し、ぜひまたお願いしたいと思っています。

お金は自分でつかう分をきめてつかおうと思った。

小遣い帳を使い計画的に使いたい。

楽しかった!

専門の「公的機関」が提供する
金融リテラシー向上のセミナー・研修(「無料」講師派遣)
～従業員・職員の皆様の福利厚生・研修にご活用ください!～

金融経済教育推進機構(通称:J-FLEC[ジェイフレック])は、特別の法律に基づき国の認可を受け、中立・公正な立場から、市民一体で金融経済教育を推進する**唯一の公的機関**です。金融経済の専門家による**出張講義プログラム**や、今すぐ導入できる**「オンライン講座」**をご提供しております(無料)、公的機関であるため、特定の金融商品の勧誘や誘導は一切いたしません。

世代別の「出張講義」をご用意しております
※対面・オンラインの方法がございます。複数回のお申込みも承ります!
多くの企業・自治体等でご利用いただいております!

タイトル	主な世代	主な内容
● 社会人として知っておきたいお金の話	10代~20代 若手社会人	家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融詐欺・トラブルの防止など
● 将来に向けて知っておきたいお金の話	30代~40代 中堅社会人	家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産運用の考え方、社会保険と民間保険、各種コース・優待制度・サービスの利用など
● リタイア後に向けて知っておきたいお金の話	50代以上 ベテラン社会人	定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保障、遺言書、税金の仕組みのほか、資産寿命の延命、贈与・相続・活活などの観点、金融詐欺・トラブルの防止など

ご検討される際の**3つのポイント**

- 講師は**J-FLECが認定した専門家**が担当
- 費用(講義代・交通費)は**「無料」**(J-FLECが負担)
- お申込みは開催希望日の**45日前まで**にお願いいたします
※ご希望の日時の講師派遣に努めております **NEW**・裏面へ

「手間なく」すぐに導入できる**「オンライン講座」**も!
※講義動画や資料等を掲載したウェブページなどをご提供いたします
詳しいお申込み方法につきましては、裏面をご確認ください

ピックアップ

主な事業

2025年09月12日

J-FLECオンライン講座
いつでも・どこでも視聴可能

2025年11月28日

イベント・セミナー
申込受付中のイベント・セミナー
2025年05月07日

講師派遣(出張授業)
金融経済教育の講師を無料・全国に派遣いたします
講師派遣(出張授業)のご案内

はじめてのマネープラン
無料体験申込受付中!
J-FLECはじめてのマネープランのご案内
2024年11月26日

はじマネクーポン
申し込み受付を開始しました!
「はじマネクーポン」のご案内
2024年12月13日

J-FLEC認定アドバイザー募集のご案内
2024年12月13日

お金について学ぶ各種教材のご提供
2024年12月13日

▲学童・放課後児童クラブ・児童館等向けチラシ(A4・A3)
A3版(右)には利用者の声を入れるなど工夫

▲職域向けチラシ
オンライン講座についても記載

▲ウェブサイトトップページ
ピックアップ画像を刷新

- 今年度の広報施策としては、CMの放映及びYouTubeに掲載する動画コンテンツの作成を実施。
- CMについては、15秒CMを1本と、30秒CMを3本作成。15秒CMはテレビCMとして全国で8月下旬に放映。30秒CMは、Web広告としてYouTube等に8月下旬に出稿。Web掲載の動画は12月末現在で、約1,050万回再生を達成。
- 動画コンテンツとして、Xで募集した生活者からのお金の疑問に、J-FLEC認定アドバイザーが1分以内でクイックに答えていく動画シリーズ「お金の1分なんでも相談所」を全10本作成(現在配信中)。
- より幅広い層にJ-FLECを認知していただくため、11月下旬からは、動画コンテンツ「お金の1分なんでも相談所」の「資産形成編」をYouTube上で広告出稿。12月末 現在で、約400万回再生を達成。
- 引き続き、2026年3月末まで、動画コンテンツによるJ-FLECの認知度向上及び金融経済教育の普及に向けた施策を継続。



▲CMサムネイル



▲動画コンテンツ

- 前回の金融経済教育推進会議でいただいたご意見等のうち、以下については標準講義資料へ記載済。
 - 金融トラブル(テーマ別講義資料(金融トラブル・消費者教育編)もあり)
 - 無登録業者に関する注意喚起(テーマ別講義資料(金融トラブル・消費者教育編)もあり)
 - 企業等の奨学金返還支援(代理返還)制度
 - 消費や投資・寄付等を通じた、社会課題の解決やSDGsへの貢献
 - 相続・生前贈与(テーマ別講義資料(終活/贈与・相続)もあり)
 - トラブルに遭った際の相談窓口

※円高・円安については大学連携講座資料に記載済

- 以下については、次回以降の標準講義資料等の更新の際に追加予定。
 - 暗号資産
- 其他のご意見等については、各分野の全体のバランス等を踏まえて標準講義資料やテーマ別講義資料の更新を検討する。

参 考

- 「金融リテラシー・マップ」について、旧事務局である「金融広報中央委員会」の名称が記載されているため、「金融経済教育推進機構」に改める。
- 大学連携講座について、利用の拡大、関係団体との連携強化等を図るため、(a)現在のモデル講義(全15コマ)はすべてJ-FLEC講師が提供、(b)引き続き大学の要望によって必要なコマ数のみを提供する形は残し、さらに大学のニーズを踏まえ必要に応じて関係団体などと連携しながら新たな講義を提案・提供、する運用へ変更するための調整に着手。

3.金融経済教育関係者からの取組み発表、意見交換

1. 一般社団法人日本金融教育支援機構
2. 公益財団法人生命保険文化センター
一般社団法人日本損害保険協会